

わ せ だ ゆ き 早稲田夕季のひまわり通信

2007年 新春号 No.11



迎春 2007年

◇18年度12月定例会の一般質問・議会報告です◇

「あなたの声を市政に届けます！」をモットーに議会活動に励み、地域の様々な課題に取り組んでいく決意です。

いじめ問題について、各市中学校を調査・視察しました。

問 鎌倉市立小学校で平成17年度にいじめの報告は4件、中学校では31件あり、中学校では前年度から倍増している。各校の実態をどう把握し、どのようないじめ問題への取り組み、指導を行っているか。また、中学校でのいじめは小学校から引きずっているケースも多い。いじめられている子への支援と同時に、いじめを行った子どもに対する適切な指導が行われているか。

答 文部科学省が補正予算に盛り込むとしているスクールカウンセラーの拡充とはどのような内容か。

答 教員がより一層の点検を行い、いじめの早期対応に努め、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。生徒指導担当の教員を中心に学校全体の協力体制で望み、困難なケースについては指導主事が助言を行っている。

いじめを行っている子どもについては「いじめは許されない」として毅然とした対応をすることも、他人の痛みを理解できるように根気強

く指導することが必要である。

・相談体制を充実させるために、市としては小学校へのスクールカウンセラーの配置に向け前向きに検討していきたい。

意見 「イジメはリストカットと同じ、子どもという集団の自傷行為」なのである。(中略)イジメる側もイジメられる側も、子どもたちはその終わりのない競争原理と抑圧の中で疲れきっている」と、作家の藤原新也氏は平成18年11月20日付朝日新聞の中で警告を発しています。

その場しのぎの対処療法では、いじめた子が次にはいじめられる側になるような負の連鎖は断ち切れません。

過去最高という景気の裏側で、自殺者が連続して年間3万人を超える日本の社会。国会では教育基本法改正法が成立し、施行されました。法律や規則を変えてもおとなが自信を持てず子どもと接しては、諸問題を解決することはできません。

家族や学校の先生はもちろん、心ある多くのおとなが子どもたちと関わってほしいと考えます。登下校時の地域の見守りが定着していません。校内においても子どもたちをさりげなく見守り、話し相手になってくれる学校サポーターを提案したいと思います。地域力を借りて、子ども達の心の見守りを行っていくことが必要ではないでしょうか。教職を目指すような大学生が子ども達の関わりを持つ機会がふえてほしいと思います。

☆12月定例会トピックス

・男女共同参画推進条例

・住宅地下室の容積率緩和を制限する条例

問題の多い斜面地マンション建設において、高さを最も低い地盤面から設定するので、これまでのように地下部分が加算されることはありません。来年度に高さを制限する高度地区が指定されると、建設の歯止めになるはずですが。

・市税条例の一部改正

三位一体改革により個人市民税の税率を所得割から一律6%に。所得水準の高い市民が多い鎌倉市では、市民税が従来に比べて3億円の減収です。

・まちづくり条例の一部改正

大規模土地(5,000㎡以上)については取引の前に、中規模土地(500㎡以上)についても開発協議の前に届出を行ない、住民へ公開することを義務づけます。

・下水道料金の改定

これまで本市では使用料金が県内でも低く、下水道事業は一般会計からの繰入金に頼ってきました(平成17年度の繰入金は約45億円)。起伏に富んだ地形のため建設費が高く、今後は浄化センターの老朽化による改修費がかかることから、使用料を値上げします。2カ月分汚水量50㎡で865円(20%)のアップ。



・一般会計補正予算は5,120万円の追加

(総額546億7,300万円)

還付金の経費、ホストコンピューターの経費、大船ルミネ市民サービスコーナー移転費、後期高齢者広域連合への分担金など。

鎌倉の交通問題について

問 平成 13 年から実施している「パークアンドライド」(※1)は渋滞解消に効果があるか。由比ガ浜駐車場と裏八幡宮を運行する「フクちゃん号」は 1 台当りの平均乗客数が 2~3 人で利用者が極めて少ない。観光ルートを回る巡回バスに変更するか、廃止するか早期に検討すべきと考えるがどうか。

答弁 ・パークアンドライドは休日のみ実施していたのを平日も実施することによって、平成 17 年度実績は約 5,200 台で前年度比 1.5 倍に増加。今年度はさらに平成 16 年度の約 2.4 倍を見込み、徐々に浸透してきていると考えている。

・現在実施している国道 134 号線沿いのほかに、深沢や十二所など他地域で実施したいと考えている。利便性を高めるため、正月三が日の実施をする予定。

・「フクちゃん号」については平日に観光ルートを結ぶ循環バスの検討する。

※1 パークアンドライド

パークアンドライドとは駐車場に車を止めて、江ノ電やバスなどを利用して観光をしてもらおうとする施策で、由比ガ浜、七里ガ浜の駐車場に加えて、4 月から江ノ島にも開設した。

意見 「パークアンドライド」は交通実験をふまえて実施している交通施策の柱にも関わらず、渋滞緩和に効果を上げているとは言えません。今後は朝比奈方面からの乗り入れに対応するパークアンドライドの検討を要望しました。また、抜本的に市内中心部の車の乗り入れ規制をセットで検討しないと、半永久的に交通問題の改善にはなりません。市民環境を優先し市外からの車の流入を抑制する方針を明確にすべきです。

問 住友常盤住宅地内へのミニバス路線の拡充と、大町や浄明寺地域での乗合タクシー導入について進捗状況はどうか。住友常盤では長年、地元自治会の約 9 割近い住民から住宅地内への乗り入れの要望が出されている。中には根強い反対もあるが、住民らの努力によってバス停の位置や安全性を確保したにも関わらず、事業者の協力が得られていない。公共交通の担い手として「市民の足」を確保する責務があると思うが、市と密接な連携が取れているのか。

答弁 ・この地域は乗り入れ推進派と反対派が 2 分している(賛成 87%、反対 13%)地域であり、事業の必要性は十分認識し、早期導入に向けて地元や事業者と調整を行なっているところである。

・大町地域では来年、乗合タクシーの交通実験を行い、幅員の狭い道路の見通しや待合所の課題解消に向けて関係者、住民の協力を求めている。



早稲田多摩ライオン

- 白百合学園小・中・高校、早稲田大学法学部卒業
- 日本輸出入銀行・地元ミニコミ紙記者・自宅で学習指導
- 早稲田大学鎌倉校友会・鎌倉日仏協会・鎌倉同人会
鎌倉ホームヘルプ協会ベルの会・鎌倉風致保存会
返子鎌倉の中世遺産を考える会・カトリック雪ノ下教会に所属
- ◆平成 18 年度 総務常任委員会委員長
鎌倉市市有財産審議会委員

県議会議員等の 政務調査費等の 情報公開を



民主党神奈川県第4総支部副代表

ひとり
深田 独

【HP】 <http://fukada-hitori.jp>

1960年2月3日生まれ(46歳)
鎌倉市西御門育ち、植木在住

1986年 慶應義塾大学大学院
文学研究科修士課程修了

昨年12月に、東京都の目黒区議会や品川区議会の議員に交付された政務調査費が不正に使われたのではないかと、大きな問題になったことをご記憶でしょうか。政務調査費というものは、地方議員の調査研究活動、広報活動等に使う目的で税金から交付されるものです。交付額は、それぞれの議会で議員たちが決めた条例によって定められています。こうした政務調査費の不正流用疑惑は、政務調査費の収支報告書に添付された領収書から発覚しました。

ところで、わたしたちの住むこの神奈川県でも、県議会議員一人あたり、年間636万円(月額53万円)の政務調査費が交付されています。ところが、神奈川県議会では、政務調査費の収支報告書に領収書を添付することを義務づけていません。つまり、わたしたち県民は、県議会議員の政務調査費がどのように使われているのか、チェックすることすらできないのです。

神奈川県新聞の報道(12月12日)に

よると、2006年度に神奈川県内36議会のうち27議会で、議員に政務調査費が交付されており、その総額は約19億5700万円に上ります。その内、神奈川県議会など県内8議会で交付された約17億8300万円については、政務調査費の収支報告書に領収書の添付義務がないため、その使途を確認することができないという、信じられない実態が明らかになりました。ちなみに、鎌倉市議会議員の政務調査費は年間60万円(月額5万円)で、収支報告書には領収書添付が義務づけられています。

国民は、政府や行政が、より良い社会、より暮らしやすいまちをつくるために税金を有効活用してくれるものと信じていけばこそ、毎年のように増える税負担に耐えながらも納税しているのです。ところが、税金の無駄づかいはいくらに後を絶ちません。有権者は選挙で議員を選び、そうした行政の税金の無駄づかいをチェックするという大事な仕事を議員に負託しているのです。そうした立場の議員であればこそ、税金から交付される政務調査費の使途について、議員自ら情報公開する義務がある、とわたし深田独は考えます。